



【春日公園の初秋霧浮朝日
写真協力：今村次美君】

2022～23 年度
国際ロータリーのテーマ

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ



2700地区テーマ

「ロータリー、継続活動と変化」
ガバナー 西島 英利

クラブ方針

「ロータリー、継続と寛容」
会長 阿部隆雄 幹事 井上孫紹

本日の例会

委員会報告

クラブ運営委員会

本日の例会

卓話（米山）
「モンゴル人留学生から見た日本」
米山奨学生 アルビン・ザヤさん

次回の例会 10月26日（水）

小郡・鳥栖3クラブ合同夜間例会
於：マリーゴールドプルミエ

親睦委員会

10月の誕生日

長井士郎君 森田正嗣君
田代雅人君 寺崎盛行君

お誕生日おめでとうございます！



会務報告

定例理事会議事録報告

1. クールビズについて 10月末までで終了 承認
2. 地区補助金事業フクサポ支援について
運営費がかさんでいるため再度寄付の呼びかけ 承認
3. 間野正衛君休会の件
治療のため10/4～11/8迄 承認
4. 川添廣志君休会の件
膝治療入院のため10/18～11/15迄 承認
5. 財団米山寄付依頼について
寄付依頼の封筒を作成し寄付を募る 承認

例会変更のお知らせ

10月24日（月）小郡RC 鳥栖太宰府合同例会のため

例会休会のお知らせ

10月24日（月）福岡イブニングRC 定款第7条第1節d

四つのテスト ◎真実かどうか ◎みんなに公平か ◎好意と友情を深めるか ◎みんなのためになるかどうか

☆☆ 経済と地域社会の発展月間・米山月間 ☆☆☆

今後の予定

10月18日（火）	卓話（米山）
25日（火）	26日（水）に例会日程変更
26日（水）	3クラブ合同夜間例会
11月1日（火）	休会（定款第7条第1節d）
8日（火）	CF（国際奉仕）

国際ロータリー 第2700地区 第4グループ

太宰府ロータリークラブ

WEB <http://dazaifu-rc.com> E-mail dazaifu-rc@clock.ocn.ne.jp

事務局 〒818-0058 筑紫野市湯町1-20-1 大丸別荘内

TEL/FAX 092-928-0876

<例会日> 火曜日 12:30～13:30

<例会場> 〒818-0058 筑紫野市湯町1-20-1 大丸別荘内



前回の記録

国家斉唱

「君が代」



塩月啓司ソングリーダー

4つのテスト唱和



石井昌憲君

会長挨拶

☆米山月間について

10/26鳥栖・小郡・太宰府3クラブ合同
夜間例会・ゴルフコンペについて

☆ロータリー奉仕デー、ゴルフボールについて



委員会報告

青少年奉仕委員会

☆第4G奉仕活動ゴルフボール大会
ご協力のお願について

☆10/26 インターアクト例会の件



45周年実行委員会

☆記念誌完成配布と
決算報告について



会報広報委員会

☆ロータリーの友10月号
よみどころ紹介



出席委員会

出席状況表

	9/13	9/27	10/4	今期累計
A 会員数	47	47	47	423
B 出席数	44	41	41	377
C 欠席数	3	6	6	46
D MU数	1	1	1	11
E 出席免除者の欠席数	1	1	0	4
F 休会扱い者の欠席数	0	0	1	1
G ホーム出席率	95.65%	89.13%	89.13%	90.19%
H MU後出席率	97.83%	91.30%	91.30%	92.82%

※ 現在の出席免除者 (園藤・萩尾・中西英貴)

東 龍児 君

仕様済切手ご協力ありがとう!



メイクアップ者・欠席者 (出席義務者のみ記載)

当該日	MU出席者	クラブ名	欠席者
9/13	塩月啓司	福岡城南RC	中西孝昌
9/27	東 龍児	福岡城南RC	北田 織
9/27			間野正衛
9/27			三條裕士
9/27			浦田秀徳
10/4	時札正文	福岡東RC	中西孝昌
10/4			下田幸子
10/4			谷川寛光
10/4			山田 真

S・A・A

- 阿部隆雄君 ヤクルト村上選手、最終打席で56号！すばらしい。ソフトバンク残念。
- 前田健吾君 少しは涼くなりました。本日は委員長さんよろしくお願ひします。
- 森田正嗣君 久しぶりに宝満山に登りました。夏と秋が同居しておりました。
- 中西英貴君 山田さんお世話になりました。
- 下田幸子君 本日欠席します。申し訳ありません。
- 塩月啓司君 福田さん、西中さん、大変お世話になりました。
- 有村康博君 本日の春日会楽しみです。
- 安東俊夫君 少し暑さがやわらいできました。早退します。申し訳ありません。
- 東 龍児君 原口さんおめでとうございます。
- 満永淳子君 食欲の秋です。美味しい物たくさん食べて、しっかり運動してます。
- 井上孫紹君 吉田知子君 本日の例会楽しみたいと思います。

ニコニコ箱 報告

	実績	目標	達成率
10/4	17,000	26,316	64.6%
累計	300,980	1,000,000	30.1%
例会回数	9	38	23.7%

会務報告

- ☆2700地区危機管理研修出席報告
- ☆ロータリーレートのお知らせ
10月 1ドル=145円
- ☆定例理事会開催のお知らせ
- ☆例会変更・休会のお知らせ

クラブフォーラム(会員増強)

会員基盤委員会 神代憲暁委員長



各クラブの会員数の推移
15年前→5年前→現在の会員数の比較

	15年前	5年前	現在	増減
1グループ	251名	224名	217名	-24名
2グループ	586名	484名	459名	-127名
3グループ	419名	398名	377名	-42名
4グループ	649名	659名	637名	-12名
5グループ	624名	654名	601名	-23名
6グループ	466名	481名	488名	+22名
7グループ	324名	284名	263名	-61名
全体	3319名	3184名	3042名	-277名
太宰府ロータリークラブ	15年前	5年前	現在	増減
	43名	50名	47名	+4名

会員基盤委員会
地区別拡大目標

地区	目標
太宰府市	1名
筑紫野市	3名
大野城市	1名
春日市	2名
合計	7名

会員基盤委員会

太宰府ロータリークラブ
地区別拡大目標

太宰府市	1名	大野城市	1名
筑紫野市	3名	春日市	2名
		合計	7名



1. 米山月間の由来

今年も米山月間がやってまいりました。国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間とは別に、日本独自の月間ロータリーマーズ、毎年10月10日は米山月間となっています。今回は改めて、その由来についてご紹介いたします。

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですでは行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月10日から10月1日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4月となり、重なってしまっただけでなく、4月では各



クラブへ送付される事業報告書などの資料数が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼するときに無理がある、交通機関のストライキが多いなど現実的な支障があったためです。そして何より、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。当会の配布資料などを活用し、米山への理解促進へのご協力をお願いいたします。

2. 米山のルーツを訪ねる



9月24日から25日にかけて、第2790地区(千葉県)米山奨学会主催で、「米山梅吉記念館探訪旅行」と題し、23人の学生・奨学生を含む27人が記念館を訪れました。ほとんどの奨学生・学生にとって初めての記念館訪問で、梅吉翁の生涯、奉仕の精神に触れ、奨学生からは「米山奨学生になることができすぎて光栄」、「平和な社会を築くために、米山梅吉のような人になりたい」といった声が多かったとのことでした。

また、2日目には東京へ戻り、サントリーホールにて「交響詩・古事記『一紀』A SE ED」五観音の物語」を観覧。「万物は一つに

3. 映像で体感する米山奨学事業

米山奨学会では、公式のYouTubeチャンネルにて、米山に関する動画を順次更新しています。今年、新たに3人の親善大使の自己紹介動画、そして2760地区の奨学生選挙過程に密着した、「よねやまに魅せられてーロータリアンの想いー」を公開しました。引き続き、米山奨学事業について、文字や写真のみでなく映像でも皆さまにお届けできるように努めてまいります。例会やセミナーなどで、YouTubeを活用し



て、気軽に上映していただくことが可能です。また、ご希望があれば映像をDVDとしてお送りさせていただきます。希望される方は当会の広報までご連絡ください。

4. 寄付金速報 一年に1度の米山月間

9月までの寄付金は、前年同期と比べて22.6%増(普通寄付金:1.9%減、特別寄付金:59.9%増)、約7,760万円の増加となりました。今月の特別寄付金の大幅増は、267号で紹介した米山奨友、周順主さん(1962-63:東京RC、1963-65&)



5. 夏のワークショップ in 浦項

8月27日、韓国米山奨友会主催「夏のワークショップ in 浦項」が慶尚南道浦項市の浦項工科大学にて開催され、総勢16人が参加しました。

今回のワークショップは1泊2日の日程で、一般に立ち入りすることができない大学内の放射光加速器等の研究所を訪問し、施設内の見学をしました。同奨友会のワークショップは、メンバ



ワークショップの合間にカフェー休憩

一同士の親睦と新たな知識共有の場として、7年前から毎年2回ほど開催しています。また、同奨友会では、2016年から在韓日本人留學生への奨学金支援も毎年行っています。

広報担当の金根庭さん(2005-06/吹田西RC)は、「韓国で活躍している米山奨友が研究、経営、情報などを共有できる学習の機会を提供するとともに、奨友間の更なるコミュニケーションの場を設け、来韓した日本人留學生との密着した交流を目指しています。今回は日本人留學生の参加は1人でしたが、今後は多くの日本人留學生が参加し、情報共有や相談ができ、勉強はもちろん、韓国での生活の活力になるような場にしていきたいです。私たち奨友会は、さらに交流の輪を広げ、絆を深めることを第一に、さまざまな活動をしてまいります」と述べました。なお、韓国奨友会では11月26日に総会を開催予定で